

第400回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	1番 澁谷政義 (一問一答)	<p>農業政策全般について</p> <p>(1) 稲作農家の担い手育成について 次の世代を担う若い後継者たちに、当市が取り組む農業政策(農業技術や経営支援)が具体策として伝わってこないのは何故か。 今、若い担い手が、新しい農業経営に取り組もうとするとときにTPP加入問題や、中山間地を多く抱える当市での農地集積等は難問であり、育苗作業や畦畔の草刈り等の重労働も加算されてくる。また、効率性の悪い高価な機械を抱え、規模拡大を進めれば進めるほど自転車操業となる。この現況を見たときに本気で当市が、農業を基盤産業と位置付けるならば、農業の弱体化を防ぐための担い手育成の政策支援は何か、具体策を示して欲しい。</p> <p>(2) 水稻の病虫害防除について 昨年は、大量の斑点米カメムシ類の発生が見られ被害が増大した。今年も昨年同様の発生が報じられたが、当市がこのことに対し調査活動や防除支援等どのような取り組みをしたか具体的に示してほしい。</p> <p>(3) 鳥獣被害防止対策について 当市は、鳥獣被害防止対策として、主に電柵を用いているが、ある意味では電柵もよいが、しかし根本的な対策には至っていない。 今後もますます増え続けると予測される野生動物類、そして農作物等の被害、これらに対し行政のトップとしての思案策と、また、市民の生命と農作物を守り捕獲処分等を担う有害駆除隊に対する位置付と助成の仕方について市長の所見を伺う。</p>	市長
2	2番 伊藤勝美 (一問一答)	<p>1. 政治姿勢について 市長の任期も残すところあとわずかになったが、市長ご自身が、公約として目指していた1つの理念、4つの政策、3つのまちづくりについて、市長の2期目4年間の総括をお聞かせいただきたい。</p> <p>2. 職員の研修と異動・退職等の対応について 近年の自治体を取り巻く環境は、社会経済システムの変革や、厳しさを増す財政状況、公共サービスに対する市民のニーズの複雑化・多様化など大きく変化している。いわゆる地方分権一括法が制定されてから、国と地方の関係は確実に分権型社会へと進んでいくものと認識をしている。 このような時代の変化や住民のニーズを的確に捉え、さまざまな政策課題に適切に対処していくためには、職員の能力向上が必要不可欠であり、それに対応していく職員の研修の充実が必要と考えているが、 職員の人材育成、研修体制の取り組みの状況と実績はどのようになっているのか伺う。 また、大量定年退職と言われている昨今、本市にお</p>	市長  市長

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	2番 伊藤勝美 (一問一答)	<p>いても、ベテラン職員の定年退職を迎える中で、さまざまなノウハウの継承や即戦力として対応できる職員の育成などが必要であると考えますが、退職、異動への引き継ぎなどの対応はどのようになさっているのか伺う。</p> <p>3．私道の助成制度の対応について まちづくりを担うためには、道路のあり方は欠かせないものになっている。長年利用していくと傷んだり、穴があいたり、修復が必要なことになる。 市内にある道路で、市長がその路線を認定された市道に関しては、多くの方々が利用するため早急な対応をなされているが、個人が所有、あるいは多数の方々が所有されている私道は個人的なことになるため、私道を採納されるか、関係者がおのおので話し合っ て、補修することになっている。 本市では、この私道に対し、私道整備助成制度があるが、 どういった適合条件が必要なのか。 過去5年間の実績はどのような状況だったのか。 市民への啓発はどのようになされているのか伺う。</p> <p>4．高齢者支援について 特別養護老人ホームへの入所希望がありながら、入所できず、待っている方が沢山いるという声を聞いております。このような状況から、入所希望がありながら、最初から諦めて申し込みをされていない方もおり、潜在的には、更に多数の方々が入所を待っている状況にある。 これらの方々の多くは、何らかの形で、市の発展に長年寄与されてきた方々でもある。 本市における特別養護老人ホームの定員増について、どのような検討をされているのか。 また、関係機関との協議の状況はどのようになっているのか。 この状況で、市民への対応はどのようにしているのか。 それから、民間の活力を活かしたグループホームの設置ということも急務だと思うが、何らかの計画があれば、進捗状況について伺う。</p> <p>5．教育行政について 大津市のいじめの問題について、 市長、教育長の所見を伺う。 本年8月1日付けで、文部科学省から、「いじめの問題に関する児童生徒の実態把握並びに教育委員会及び学校の取組状況に係る緊急調査について」の依頼があるが、どのような調査内容なのかを伺う。</p> <p>6．小中学校の道徳教育について 平成23年度から実施された新学習指導要領において、生きる力を育むという基本理念がある。 この生きる力は、基礎基本を確実に身につけ、いかに社会が変化しようと、みずから課題を見つけ、みず</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育長</p> <p>教育長</p>

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	2番 伊藤勝美 (一問一答)	<p>から学び、みずから考え、主体的に判断し、問題を解決する資質と能力、望ましい生活習慣、物事の善悪を区別し、自分自身を律しつつ、思いやり、礼儀正しく、励まし合うなど、他人との協調、自然や動物、生命を大切に作る心、集団や社会とのかかわりをうたっている。しかし、最近、学校ではいじめ、学級崩壊、挨拶ができないなどといった生活指導上の課題が多く問題になっている。</p> <p>また、子供たちだけではなく、保育園では、遅くまで子供を迎えにこない親がいたり、入学式や授業参観といった学校行事などでおしゃべりに夢中になったりしている保護者がいるという声があり、親から子への規範意識の薄れが広がっているようだ。また、最近子が親を、親が子をあやめる事件、凄惨な事件といったことが大きくメディアに取り上げられ社会問題になっている。</p> <p>小・中学校の道德教育は、長い時間をかけて実施されているが、道德教育は、日々常になされなければならないし、単なる精神論だけでは説得力がない。</p> <p>目標などを具体的に提案していく必要があり、道德教育の充実がさらに求められていると考える。</p> <p>小中学校における道德教育の現状と課題について伺う。</p>	
3	14番 志村新一郎 (一問一答)	<p>1. 今年行われる市長選挙について</p> <p>まずはじめに今年行われる市長選挙について質問いたします。今年2月の風間後援会の中で今年の市長選挙に立候補を表明されたそうですが、市長は、市民とともに又議会とともに歩み、市政を推し進めてゆくものと思っておりましたが、どのような感覚を持って後援会を優先させたのか、市長の考えをお聞かせ願います。</p> <p>議会において改めて市長選挙に対するの考えと、3期目に対するの心構えと、どのように白石市を導いていくかをお聞きます。</p> <p>市長とは白石市民の父親的な存在だと思います。親として子どもの成長を見たときに、子どもの10年後、20年後はどうなるのか大変心配と思います。</p> <p>市では10年後の白石市の姿は、第5次総合計画の基本構想では「市民が共に支え合いながら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまちづくりを進めます」を将来像とし3つの分野、5つの目標を立てており、「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を戦略テーマとして基本計画を作成しております。</p> <p>中身は盛りだくさんでどのように優先順位をつけて実施していくか、また各地方自治体の行政課題は共通点があり、解決手段としては地域特性等を考慮すると多種あると思っているが、白石市長がリーダーシップを取って事業を行うにはスピードが大切と考えてい</p>	市長

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	14番 志村 新一郎 （一問一答）	<p>る。近隣市町がほとんど行ってから行うのではリーダーシップを取れない。計画だけを行うのでは遅れた行政となる行政課題。市民ニーズは日々変化しておりこれに対応して行くことが必要である。</p> <p>仙南、宮城県、東北、日本の中で光輝く白石市を作っていくことが大切と考えるが、2期8年を超えようとしており、市長の考えを市政にどのように反映し、リーダーシップを取った3期目の白石市の姿を描いているのかお聞かせ願います。</p> <p>2．東日本大震災後の検証について</p> <p>昨年の東日本大震災に大変な被害を受けた白石市。今もその後の復興に取り組んでおりますが、震災を今振り返って見たときにどのように、感じているのか、あの時に取った対応は正しかったのか検証したと思われませんが、市長としての考えをお聞きします。</p> <p>また、危機管理体制は十分であったか、事前によくしておくことは無かったのか、またこれからやらなければならない事は無いのか。例えばの話ではあるが、直下型の地震が七ヶ宿ダムの近くで発生した場合にどのような対応をするのか。千年の昔にあったことは起きるのです。今回の地震によりなお一層の対策を講じておかなければならないし、複数の災害が発生したときの対策はどのようにするのか市長の見解をお聞きします。</p>	市長
4	8番 佐久間 儀郎 （一括質問一括答弁）	<p>1．市税等の収納について</p> <p>前年度比やや良化したとはいえ、市税等の収納率が高率というのは程遠いように思います。これについては一面、市の経済状況を反映し市民の家計が苦しいことを物語っているという見方があります。</p> <p>そこで、まずこのような事態を市長はどのように捉えておいでなのか。そして有効な手だてをどのようにお考えになっているのか、所信をお尋ねします。私は、もとより市民の経済活動を活性化する施策が重要と考えますが、同時に市税等を納期限内に納付していただける環境づくりをすることも大事と捉えています。したがって、市税務課収納管理室や会計課等が、夜間収納総合窓口を開設して納税者が納付しやすいように努力されていることを高く評価するものです。</p> <p>そこで この特別な窓口の実態と効果など、市民の利用状況、今後の充実化についてお知らせください。さらに、納税貯蓄組合については今後どのように取り組んでいくお考えなのかお聞かせください。</p> <p>さて、私は納期限についてもっと柔軟な対応をされて、例えば 2回から10回まで納期を細分化して、納税者に何回にするかを選択させることはできないものなのかと考えています。可能とすれば、納期限は自分自身が決めますので、必然的に納付率も高まるのではないのでしょうか。この点のご所見をお聞かせください。</p>	市長

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	8番 佐久間 儀 郎 （一括質問一括 答弁）	<p>次に、本市では、口座振替納税を呼びかけています。これは市民にとっても便利なことで、今後も啓発を続けていただきたいと思います。加えて口座振替手続きや時間外対応策を拡張する方向で、かつて同僚の菅野恭子議員も進言されていましたが、この際、コンビニエンス・ストア収納方式を積極的に導入してみたいかでしょうか。口座振替と同じ効用、そして地方自治体の財政難の原因のひとつとなっている納税業務の一部をアウトソーシングすることで、支出の削減をすることができます。何より、住民サービスの向上になります。24時間営業のコンビニで勤め帰りや土曜、日曜、祝祭日に係わらず払い込みが可能ならば収納率の向上は相当に期待できます。もちろん課題はありますが、コンビニ収納方式を導入することについて、市長の所信をお聞かせください。</p> <p>2. 広告掲載事業について</p> <p>本市では新たな財源の確保と地域経済の活性化を目指して、平成20年1月4日から広告掲載要綱、広告掲載基準、同細目に関する要領を設けて、ホームページに広告バナーを掲載、事業者から広告入り「窓口封筒」の寄付を受けるなどの事業展開をしています。また、NTT番号情報会社と共同で「タウンページ&amp;ハローページ+市民便利帳」の発行をなし、市民便利帳の作成費用を削減しています。努力は市民に少なからず評価されていると思っています。しかし、23年度は予算56万円対し同額が収入未済となったのはいかなる理由だったのでしょうか、お聞かせ願います。</p> <p>ところで、過日、所属する総務財政常任委員会で愛知県知多市の広告掲載事業を行政視察する機会がありましたので、本市との異同を指摘しながら、いくつかお尋ねします。知多市の事業の特色を申し上げますと、市の公有財産、物品、印刷物やホームページ等、市の保有する資産を広告媒体として活用するため、守るべき共通事項を広告掲載要綱に決めました。ここまでは本市と同じです。そのうえで掲載基準の細目、広告掲載料、広告の選定方法等については、各所管で広告媒体ごとに要領を定めるものとして、広告収入は、各所管の財源として運用できるようにしたことにあります。そのため、それぞれの所管では知恵を出し合い、多種多様な広告媒体を工夫しています。極端な言い方をすれば、経費を上回る広告収入を得られるのであれば、あまねく広告の媒体になるということを実践している。決して財政が逼迫している自治体ではありませんが、地方交付税交付団体になったことを契機に、あらたな自主財源の確保や経費削減に、市職員一丸となって鋭意取り組む姿勢を市民に向けて発信したというわけです。広告料は大きい額にはなりませんが、少しでも収入を確保しようということで、あらたな財源確保に取り組む姿勢は見習うべきものがあると思います。貪欲に広告媒体を探し、当市の現行事業を拡充し</p>	市 長

順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	10番 四 竈 英 夫 （一括質問一括 答弁）	<p>ていくことについて、市長の所見をお伺いします。</p> <p>1．交通死亡事故ゼロの記録を伸ばし、安全安心な地域社会を築くために  先ごろ本市は交通死亡事故ゼロ500日を達成したことにより、宮城県知事と宮城県警察本部長から「褒状」が贈られました。誠に御同慶の至りであり心からお喜び申し上げます。行政と市民が一体となって交通安全に取り組まれた賜物と衷心より敬意を表します。  そこで、今後この記録をさらに伸ばし、安全で安心な地域社会を築いていくために、どのような対策を講じていかれるお考えをお伺いいたします。</p> <p>また、白石地区交通安全協会とその支部が各地区で活動を続けていますが、会員の漸減等により予算が減少し、活動に苦慮しているのが現状であります。今後交通安全活動の更なる活発化と死亡事故ゼロの記録更新に向けて、予算の援助などはできないものをお伺いいたします。</p> <p>2．学校の「いじめ」問題について  昨年から今年にかけて、学校の「いじめ」問題が相次いで発生しました。ニュース等で明らかにされるその実態は、耳を塞ぎ目を覆うような悲惨な状況であります。なぜこのような問題が発生して後を絶たないのか残念でなりません。本市においてはこうした問題は発生していないと思われませんが、対岸の火事と看過できるものではありません。いつどのようなかたちで問題が発生するかもしれません。そうした事態を未然に防ぐために、実態をどのように把握し、どのような防止策を講じておられるのかお伺いいたします。</p> <p>また学校のみならず、家庭内における暴力、虐待、育児放棄なども依然として社会問題となっております。これらの問題についても実態の把握にどのような配慮をされておられるか。もし、万一問題を把握した場合どのような対処をされるのか、お伺いいたします。</p> <p>3．小学校の学力調査について  今年4月文部科学省による小学6年生と中学3年生の学力調査がありました。本市でも調査が実施されたものと思いますが、その結果はどうだったのでしょうか。それらの結果をどのように分析し、今後の教育にどのように活かしていくお考えなのかお伺いいたします。また、調査を受けなかった学校の成績についてはどのように捉えているのでしょうか。  そして、今後更なる成績の向上を目指し、どのような方針を取られるのかお伺いいたします。</p>	<p>市 長</p> <p>市 教 育 長</p> <p>教 育 長</p>
6	16番 大 町 栄 信 （一問一答）	<p>1．企業立地推進について  新しく工業団地を造成した白石インター工業団地にセコム工業株式会社の進出が決まり、今年1月に工事着工され平成25年1月に操業予定であります。</p>	市 長

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	16番 大町栄信 (一問一答)	<p>また、今年8月、株式会社パルタックの進出が決まり、白石市として雇用の促進につながります。</p> <p>市長はどのようなトップセールスを行ってきたのか伺いたい。また、今後の白石として企業誘致の見通しや新しい計画があるのか伺いたい。</p> <p>2. 「人、暮らし、環境が活きる交流拠点都市」づくりについて</p> <p>白石の目指すべき目標は様々にあると思いますが、市民活動に対する支援について伺います。</p> <p>本市では、各種市民団体が特色ある事業やイベントなどを実施しておりますが、市全体を考えたとき、少しずつ活動の低下がでてきているように感じます。特に各地区においては少子化そして高齢化により活動の低下が強く見られます。</p> <p>今後、地域の活性化を図り市民が主役のまちづくりの実現を目指し、職員の地域参画やまちづくり協議会への支援、そしてまちづくりのための資金的支援制度のあり方などを具体的に考えていくべきと思いますが、伺います。</p>	市長
7	4番 管野恭子 (一問一答)	<p>1. 学校施設の非構造部材の耐震化の推進について</p> <p>近年の大規模地震においては、構造体への被害が軽微な場合でも、天井材や外壁材の落下など、いわゆる非構造部材の被害が多く発生しており、東日本大震災では、多くの学校でこのような事態を招いた。学校施設は子供たちの活動の場であり、非常時には地域住民の応急避難場所ともなり、その安全性の確保は極めて重要であり、文部科学省が設置した有識者会議で取りまとめられた「東日本大震災の被害を踏まえた学校施設の整備について」の緊急提言では、非構造部材の耐震対策を速やかに実施する必要があると指摘している。本市においての非構造部材の耐震化状況を伺うとともに、その推進を早急を実施すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>2. 太陽光発電システム設置の更なる拡大について</p> <p>本市は、中央公民館、第一小学校に標記システムをすでに設置し、今回、新たに本市庁舎に、災害時のエネルギー対策及び地球温暖化防止の一環としての視点から設置予定であるが、大変評価できる取り組みと考える。今後、災害時非難場所にもなる小・中学校施設をはじめとする公共施設への設置拡大が、諸視点から重要であり更なる推進を図るべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>3. 子供へのインフルエンザ予防接種の助成について</p> <p>標記の件は平成20年第373回及び平成23年第396回定例会において一般質問しているが、子供の健康と子育て世帯の負担軽減から強く助成の実施を求めるものであるが、市長の見解を伺う。</p>	市長 市長 市長



順位	質問者（方式）	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	5番 水落孝子 （一問一答）	<p>入に匹敵する売電収入を得ている町もある。宮城県では大崎市が産業経済部に「新産業・グリーンエネルギー推進室」を設置し、議会と一緒に精力的に調査・研究を重ねていると聞く。</p> <p>「人・暮らし・環境が（生き生きと）活きるまちづくり」にもふさわしい再生可能エネルギー産業についてのお考えを伺う。</p> <p>新たな産業の必要性について 新たなプロジェクト・課などたちあげての調査・研究などの必要性について</p>	
10	16番 大野栄光 （一問一答）	<p>1. 市政に期待する施策</p> <p>雄大な蔵王連峰と清流白石川の大自然の恵みに抱かれ過ごしてきた我々は、どこよりもこの白石を愛おしみ、大好きなのです。歴史と伝統文化を有し、気候温暖にして実り豊かな耕土が広がり、誇れる郷土なのです。昨年の大震災も官民一体となって被災を乗り越えた力は、市民の力強さと絆を感じます。また、交通の利便性も良く、一級交通網が整備され先人の偉業を感じます。市長は次の市政に意欲的に取り組もうとしています。市民も発展を期待しています。</p> <p>そこで以下の点のご意見お聞かせいただきたいと思えます。</p> <p>歩道の無い通学路、車と並用している子供たちの事故を憂い、安全な歩道整備を。</p> <p>転出者が転入者を上回る状況と人口減少をどのように捉え、施策を講じるのか。</p> <p>高齢者の入所待機が長くなっている現実に家族は疲労し、施設介護を望んでいるが、対処方法はあるのか。</p> <p>シャッター通りの解消と街中の活性化の施策についてお尋ねします。</p> <p>高齢化が進む農業従事者、委託作業も増大している。農業利益が少なく機械の更新も難しい現実に市の対応策や営農指導はあるのか。</p> <p>自然条件が揃っている当市にクリーンエネルギーの施策はあるのか。</p> <p>市長の創造施策があればお聞かせください。</p>	市長
11	3番 沼倉昭仁 （一問一答）	<p>1. 白石市の「放射能対策」について</p> <p>今回は、平成23年度の決算議会ということもあり、これまでの白石市の放射能対策について総括的に質問する。</p> <p>白石市は、8月10日付けで「放射能対策特集号」を配布した。それによれば、白石市は、今年の4月に環境省に提出していた「白石市除染実施計画」の承認を待たずに独自に「除染」作業に踏み切ることを決断。空間放射線量の高い保育園や幼稚園、小中学校などの「子供空間」を「除染」の最優先場所と考え、4月26日から越河保育園の「除染作業」をスタートさ</p>	市長

順位	質問者(方式)	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	3番 沼倉昭仁 (一問一答)	<p>せたとされている。</p> <p>ところが、それと同時に「市民の皆さんの健康、特に子供たちの健康に大きな不安を与えてきた」としながらも、震災発生から1年も経った今年に入ってからようやく「除染作業」がなされたことになる。</p> <p>白石市が、震災から1年後に「除染作業」を決断したのはなぜか、お伺いする。</p> <p>また、同じ「放射能対策特集号」では、今月の5日には「原子力損害賠償個別相談会」を開催したとされているが、丸森町は、「精神的な損害賠償」「観光の風評被害」について福島県以外では初めて独自に認められている。</p> <p>白石市では、原発事故による市内の被害について、どのように実態を把握して、どのようなデータを東電に提出しているのか、お伺いする。</p>	